（様式２）

年度　　分　　料免除・徴収猶予申請書

西暦　　年　　月　　日

豊

1．前期 4/1，後期 10/1 現在の状況で，事実をありのまま正確に記入すること。申請理由が不明な場合や記入内容が不十分である場合，審査を行うことができませんので御留意ください。なお，記入すべき事項が記入されていない場合，内容が故意に事実と相違して記入してある場合は，免除許可後であっても許可を取り消します。
2．記入に際しては，黒ペンまたは黒ボールペンを使用し，本人が自筆すること。消えるペンは無効。
3．訂正する際は，二重線を引き上部の空いている所に記入し，修正液等は使用しないでください。

＿＿＿＿年度入学　　第＿＿＿年次

学籍番号　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所　　属　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　専攻

氏　　名

（本人が署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下[illegible]除及び徴収猶予を受けたいので，許可くださるよう関係書[illegible]申請します。

記

理由（本人が 300～500 字程度で，具体的かつ詳細に，黒ペン又は黒ボールペンで記入のこと。）

「理由」欄

申請の理由は，本人からみた家計の状況を判断し記入する欄であるため，**必ず学生本人が自筆**してください。父母等家族が記載したとみなした場合は，許可されません。

また，研究の時間を増やすためのみ，ローンの返済，兄弟姉妹の結婚資金・大学等への修学資金が必要等の理由のみでは申請理由とはなりません。免除制度の趣旨を理解して主たる家計支持者の収入をもとに**具体的かつ詳細に記入**すること。

文字数が明らかに少ない場合等は申請書類不備として審査対象外となることがありますのでご了承のうえ申請をお願いします。